

## テーマは『変革』

追分高校学校祭が学校規模の縮小（学級数の減）等への対応を考え、今年から内容を大きく見直し7月17日に開催されました。例年2日間で行われていたのを1日日程に集約し、一般公開はなくなりまし。また目玉行事の行灯行列は午前の部の山車行列に変えるなど、過渡期の1年目から大きく内容は変わっています。「新たな伝統を作っていくために」と変革に取り組む追高祭。規模や形は関係なく、今年も生徒達の良い思い出となったでしょう。



## 福祉を学ぶ

追分高校3年生が6月から「ぼっぼ苑」と「はーと苑」で体験学習に参加しています。将来の進路に福祉関係の仕事希望する8名が9月までの間、施設見学や講話、利用者との交流活動など福祉施設の現場でいろいろな体験をしています。

利用者との交流では、初めは話すきっかけをつかめない生徒も徐々に雰囲気をつかんで頑張っていました。

将来町内で活躍する機会があればきつと協力してくれた施設の方や利用者のみなさん、そして町にも強い味方になってくれることでしょう。



## 復活・みんなの徳の市

7月17日約30年ぶりに「みんなの徳の市」が早来商店街で開催され、同実行委員会では、「今年が町内の大きなイベントが自粛されているのでみんなの徳の市実行委員会では規模は小さいが活気あふれる楽しい企画にまとめました。」とのことばどおり、午前11時の開会から地元元の商店やフリーマーケットで参加する店舗には掘り出し物や手作りの小物を買いたい求める人があふれ、夕方からは蒸し暑い中で飲む冷たい生ビールやワインで楽しむ客が増え、短い夏のイベントは子供から大人まで多くの町民の参加で盛況に終わりました。



## 野生大麻の根絶を目指して

7月21日と23日、苫小牧保健所が中心となり苫小牧医薬品登録販売者協会苫小牧支部の会員や町の関係者が参加して安平町内の野生大麻除去作業が実施されました。毎年継続している成果もあり今回の作業日程では過去の群生地から野生大麻はあまり確認できませんでした。もし疑いのある植物を見かけた場合等には触らずに苫小牧保健所（☎0144-34-4168 医療業務）の専門窓口へ「連絡してほしい」とのことです。新たな群生地が増えない対策も続けて野生大麻の根絶を目指しています。



## J Aからの贈り物

J A 共済連北海道では交通事故により多くの道民が犠牲となつていてることを受けて自治体や交通安全団体に交通安全資材等を寄贈する社会貢献活動を実施しています。今回全道で101台用意された交通安全指導車の1台と交通安全指導員用のレインコート43着の寄贈決定を受けて7月22日にはJ Aとまこまい広域浅野組合長から目録が手渡されました。すべて7月末までに譲渡され、シルバーの車体の両側に「交通ルールを守ろう」と書かれた車は町の公用車として活躍を始めています。「食の安心安全」だけでなく「地域の安心安全」も願うJ Aからの大きな贈り物でした。

